

京都市立芸術大学音楽学部同窓会



真声会

会報 第80号

2025年5月1日



新たな一步を

真声会会長 登 博美 (20期・トロンボーン)

あちらこちらで満開の桜が咲き誇り、また春休みと日曜日が重なり、国内外の観光客で溢れかえっている春の息吹を感じられる4月6日、京都コンサートホールにおいて「真声会創立70周年記念演奏会」が盛況のうち幕を閉じました。多くの同窓生、在校生、関係者の皆様のご尽力により、この特別な節目を華やかに彩ることができましたこと心より感謝申し上げます。

記念演奏会では、現役で活躍するプロや多方面で演奏活動が続けている卒業生、そして在学生など5期から73期の世代や専攻を超えた総勢260名を越える同窓生が出演されました。会場には850名もの多くの皆様にご来場いただき、熱気あふれる素晴らしいひとときとなりました。

同窓生の聴衆を圧倒する荘厳で迫力ある演奏は圧巻でホール中が感動の渦に包まれたとき、改めて母校の素晴らしさを実感いたしました。世代を超えて心がつくなる、そんな感動的なひとときを共有できたことを大変嬉しく思います。音楽を通して築かれる絆が、私たちの母校の誇りであり、これからの未来へと続く大切な財産です。演奏会を通じて改めてその結束力を感じました。

また、演奏会後の記念パーティーは会場を移し、感動的な余韻が残る中、終始和やかな雰囲気の中で開催されました。こちらにも105名の皆様にご参加いただき、旧交を温め、思い出話に華が咲くなど周年事業でしか味わえない大同窓会となりました。

これまで70年という長きにわたり、同窓会が続けてこられたのは、歴代の会長を始め、役員の皆様、そして何より会員の皆様の母校への熱い思いと、同窓

会活動へのご尽力があったからに他なりません。この紙面をお借りして、長年にわたる皆様のご功績に改めて敬意を表し、心より感謝申し上げます。

この70年という節目を機に、真声会は新たな一步を踏み出します。今後もさらに「開かれた真声会」、「魅力ある真声会」、「誰でも参加できる真声会」を目指し活動して参ります。そのためにも、会員の皆様の積極的なご参加、ご協力が不可欠です。今後とも変わらぬご支援とご理解を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

京都市立芸術大学（京都芸大）では4年間学長を務められました赤松玉女学長が2025年3月をもって退任されました。京都芸大では大学移転記念事業の一環として、「これでおしまい、そしてここから」のテーマによる退任記念展が3月末の11日間学内で開催されました。

本学で学ばれた学長は、教育活動と並走させながら、さまざまな画材を用いた絵画表現を探索され、主に人物像を描き続けてこられました。2000年代からは女性像が中心となり、さらに最近の作品では、人物像から顔に関心を移し、人間の曖昧な感覚を映し出す表現へと変化し続けています。

赤松学長自身が学び、教鞭をとり、学長を務められた京都芸大での長きにわたる活動を終えるにあたり、その両業の変遷が見られる記念展は、女性が、そして人間が、どのように世界と関わり生きるのかについて、一つの視点を提供されていました。退任はされたものの、「そしてここから」新たな一步が始まる赤松学長の益々のご活躍を楽しみにしております。

70周年記念演奏会のご報告

真声会副会長 樋上 由紀(19期・ピアノ)

去る4月6日、真声会創立70周年記念演奏会が、京都コンサートホール大ホールにて盛大に開催されました。総勢260名余りの同窓生(卒業生、在校生、京芸の先生方)が同じ舞台に乗り、圧巻の演奏が繰り広げられました。

合唱練習は4日間(合唱指揮は阪哲朗さん、松川創さん)。オーケストラの練習は2日間(阪哲朗さん指揮)。何年、何十年振りかで再会した懐かしい人達と喜びを分かちつつも、練習が始まるや、年月や年齢の差は一瞬に消え、一体となった温かな音楽が流れ始めました。これぞ京都芸大の特徴ではないでしょうか。

当日ロビーコンサートでは、サクスの二重奏があり、演奏会に来られた聴衆の方々に歓迎する素敵なおもてなしとなりました。

そして演奏前の壇上では真声会が京都芸大に寄付したCDと図書の日録贈呈と大学からは感謝状が贈られました。寄贈品は同窓生や様々な方から寄せられた貴重なCD 4,460件、図書596点と、図書館データベースへの書誌登録料9,766,350円です。大学発展のために学生、市民の皆様、研究者にも幅広く活用いただけることを願っています。

さて、演奏会一曲目は、現在母校で作曲の教授をされている、酒井健治さん作曲の「O-KI-NA—祝賀のためのファンファーレ」(委



嘱作品)。ホールに高らかに鳴り響くファンファーレは、まさに未来へと繋がる夢や期待の膨らむ神秘的な音空間となりました。

引き続き演奏されたベートーヴェン作曲の三重協奏曲は、ピアノの河内仁志さん、ヴァイオリンの日比浩一さん、チェロの上村昇さんの熱演で、会場を包み込む深い音楽に酔いしれるひと時となりました。

休憩の後はベートーヴェン作曲の第九です。ソリストはソプラノ和田悠花さん、アルト福原寿美枝さん、テノール奥本凱哉さん(清水徹太郎さんの代役)、バリトン黒田博

さん。ソリストと呼応するように150人以上が参加する合唱は阪哲朗さんの指揮のもと、オーケストラと力強く共鳴し始めます。高らかに歌い上げられた人類の賛歌は、聞く人をも巻き込み、魂を揺さぶる感動の渦を引き起こしました。

今私たちを取り巻く世界は戦争や災害、突然の経済不安によって、先が読めない不穏な状態ですが、どのような世界であっても、音楽は人々に生きる勇気と希望を与えてくれるもだと再確認致しました。私達は違いを越え一つに共鳴する事で、こんなにも大きな感動と力を生む事ができるのです。これこそ京都芸大卒業生の未来に示すべき可能性



ではないでしょうか。この演奏会はきっと多くの方々の心の中に生きる力となって、燃え続ける事でしょう。

役員の一人としてこの演奏会に携われましたことを感謝し、ご協力いただきました全ての方々に、心からお礼を申し上げます。有難うございました。

※演奏会のプログラムを同封しておりますので、ぜひご覧ください。なお、上記報告にもありますように、清水徹太郎さんは体調不良のため降板され、代わりに奥本凱哉さんが出演されました。当日プログラムには、「出演者変更のお知らせとお詫び」として、挟み込みを行いました。

70 周年記念パーティーのご報告

真声会副会長 佐藤 敏子（17 期・声楽）

2025 年 4 月 6 日（日）の真声会 70 周年記念コンサート終了後の 18 時より、リーガロイヤルホテルにおいて記念パーティーが開催されました。来賓の美術学部同窓会「象の会」の会長小山様のご祝辞に続いて、京都市立芸術大学学長の小山田様のご祝辞と乾杯のご発声の後、和やかに食事会が始まりました。しばしの歓談を経て、第九ソリストの方々やチェロの上村昇氏はじめ数名の方からメッセージをいただき、会場は大いに盛り上がりしました。当日は 7 期から 72 期までのおよそ 100 名の同窓生が久しぶりに集い、世代を越えて旧交を温めましたが、あっという間の 2 時間が過ぎ去り、名残惜しい思いを残しながら閉会となりました。また何時か何処かで、皆様とお会いできる日が来ることを心より祈念いたしまして、記念パーティーのご報告とさせていただきます。



司会：佐藤副会長



登会長



象の会 小山会長



小山田学長



日比さん、上村さん、河内さん



和田さん



福原さん



奥本さん



酒井さん

第9回 真声会賞は 近藤 寿奈さん(ホルン専攻)が受賞

真声会専務理事 寒川 正晴(30期・ホルン)

令和6年度の卒業生の中から、ホルン専攻の近藤寿奈さんが真声会賞に選ばれ、賞状並びに副賞を授与されました。

真声会賞とは、在学中に受講された全ての科目において成績が優秀と認められた学生の中から選考され授与されます。今回も真声会学内委員の先生から推薦された、ヴァイオリン専攻 大石彩代さん、声楽専攻 中野未唯さん、そして近藤寿奈さんの3名のレポートを、理事会において慎重に審議し選考いたしました。歩んでこられたこれまでの音楽活動を振り返り、これからの社会との関わりについてそれぞれに思いが込められており、選考に当たって意見が分かれました。また卒業を目前にしたこの時期に小論文に取り組まれたみなさんの苦勞に、なんとか応えられないかという意見も出ました。今回は提示されたテーマについてより具体的な内容で分かりやすく書かれていた近藤寿奈さんのレポートを真声会賞として選出いたしました。

真声会賞の選考にあたりまして、京芸事務局教務課、学内委員の先生方のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。卒業生の皆様には今後のご活躍、ご発展を祈念致しましてご報告させていただきます。

♪ 真声会賞受賞者よりメッセージ



このような名誉ある賞をいただき、大変嬉しく思います。これも京都芸大で素晴らしい仲間や先生方に出会い、家族や大学関係者の皆様、多くの方々に支えていただいたお陰です。心より感謝申し上げます。

私の人生における信念は「挑戦」です。大学4年間では自分にはレベルが高いと感じる事にも果敢に挑んだからこそ成長できたと実感しています。

これからも挑戦を続け、この賞に恥じぬ立派な演奏家になれるよう精進して参ります。



真声会賞受賞者レポート

京都芸大で見つめた、私らしい社会との繋がり

近藤 寿奈 (70 期・ホルン)

卒業後の音楽を通した社会と関わりについて、私が考えていることは主に 4 つある。

まず、オーケストラを通して『生演奏の臨場感を味わう』という非日常的で貴重な体験を与えたいと考えている。現在、音楽を聴く主要な手段といえばスマートフォンを用い、YouTube やサブスクリプションといった好みの媒体を通して録音や録画を鑑賞することだろう。もちろん場所や時間に囚われず、様々な国の音楽が聞けることは画期的なシステムであると思う。好きなシーンを繰り返し再生できるという利点は、数十分はある曲の長さにも耐えられない人にも気軽にオーケストラに触れてもらえる機会が増え、好転的に変化したようにも感じる。しかし十分にオーケストラの魅力は引き出せていないように思う。なぜならわざわざ大きなホールに出向き、一瞬の間さえも会場内全体でその緊張感を味わい、数十人・数百人が奏でる音を耳だけでなく目でも肌でも感じるというこの非日常的な体験こそ最大の魅力であると考えからだ。私がオーケストラ奏者を志すようになったのは金管楽器の華やかな音色、木管の温かみのある音色、弦楽器のような伸びやかな音色、そんなどんな音色も自由自在にオーケストラの中で操って全体をまとめるホルンに惹かれ、これを仕事にできたらどれほど幸せかと感じたからである。私がここで感動したのは機械的に配置された音ではない、楽譜には書かれていない楽器同士の対話や空気感、音圧などに圧倒されたからである。この自身の体験もあるからこそ、私は生演奏を大切にし、多くの人にその良さを伝えたい。また私が奏者になれば何度も同じ曲を演奏することがあるだろう。しかし慣れることなく、お客様はこの一度きりの演奏を聴きに來ているということを忘れずに 1 音 1 音に想いをかけて演奏できるよう鍛錬を重ねたいと思う。

さて、これまで述べてきたことはポップスのライブにも同じことが言えるだろう。しかしオーケストラはお堅く専門的なイメージがあり、より特定の人しか聞いているように感じる。その理由の 1 つに学校の授業の影響で聞き方が制限されていることがあると考える。作曲者の出身地を覚えて曲の構成やモチーフを理解し、最後には必ず曲の感想を述べなければならない。私も教育実習に行かせていただき、学習指導要領に則って授業をする以上知識を与える授業になりがちであることは理解している。しかし学校教育は音楽の導入であり、初めてオーケストラや音楽そのものに触れるのが授業だった人も多いはずである。そこで音楽は真面目に座って聞くだけ、楽しくないと嫌悪感を抱いてしまったりは演奏会に行こうと考える人は少なくなってしまうだろう。また本来は音楽の聞き方に正解はなく、推しの奏者を見つけてその人だ

けを見つめても、表情や目の動きに注目しても、もちろん音だけに集中しなくてもいいのである。そこで私は教育者として、自分の好きな音楽の楽しみ方を見つけてもらえるような取り組みをしたいと考えている。本校在学中、私は演奏旅行やアウトリーチ、学校への訪問演奏といった様々な企画に参加させていただき生徒や児童に演奏を行ってきた。中でも興味深かったのはロームシアターでの子ども音楽サロンである。ここでは台本の作成から小道具の準備、曲目の選択まで全て自分で行った。私が重視したことは 2 つ、曲を聞くだけではなく見て触って考えて、色々な感覚を用いること、またホルンのオーケストラの楽器だけではない魅力を引き出すことであった。そこでフリップを使ったクイズや 4 メートルのホースで作った擬似ホルンを伸ばして管の長さを体感してもらったり、古典派の曲からポップス、ジャズまで幅広いジャンルの曲を演奏したりして工夫を凝らした。また子どもたちはどこで聞いてもいいいつでも移動も可能であったため、自由に動きまわって大きい音に驚いたり真下から楽器を見つめていたり、また終わったあとには実際にホルンを持ってみたりレバーを動かしてみたりもしてもらった。それ以前に教育実習の授業でホルンを紹介させていただいた経験もあったが、体験型で五感を刺激する内容であったことからこの子どもサロンのほうがより子どもたちの目がキラキラしており、記憶に残るものであったように感じた。この経験から枠に囚われることなく興味のいく方向へ自由に楽しむことが本来の音楽の形であり、その方がより子どもたちが心からのびのびと音楽を感じ取ると納得した。今後ホルンを教えに行く際や音楽教室に伺う際には、なるべく多くの感覚を使って気軽に音楽に触れてもらうこと。また技術的、理論的な面だけを見つめず様々な方向から特長を発掘し、音楽の好みを少しでも多く探し出すことを重視したい。また私にとっても興味深々な様子で笑顔が素敵で数ヶ月経った今でも心に残っており、今後も積極的にアウトリーチ等にも参加していきたいと考えている。

そして、私は愛媛県出身で初めてオーケストラを聞いたのは高校 2 年生。音楽を本格的に勉強し始めたのも本校に入学してからである。そこで感じたのは都会に比べてプロの楽団は少なく、演奏を聴く機会も少ないということだ。教育実践演習の講義でロームシアターの方に年間スケジュールを紹介していただいたことがあるが、京都の子どもたちは身近に大きなホールがあって京響の演奏を聴いたりオペラを鑑賞したりできることを知り、驚きと同時に羨ましいという感情も芽生えた。これまで生演奏を聞いてほしい、聞き方に制限はないと述べてきたが、これは大学生になって多くの演奏会に出向いたか

らこそ考え出した意見であり愛媛県にいる頃には出てなかったであろう。そこで私は地元での演奏活動や指導も積極的に行いたいと考えている。元々、私が音楽の道に進むきっかけとなったのはプロの奏者に演奏を聞いていただく機会があり、そこで勧めていただいたからである。私の場合は本当に幸運的な出来事であったが、本来は大阪や東京のように気軽にプロのレッスンを受けられる環境が整ってほしいと思う。現状、私のような大学生でさえレッスンや演奏を切望されるほど特に楽器専門の先生は少ないように思う。今後、私がさらに優れた演奏家になることはもちろんのこと、そこから学生の指導を積極的に行い若手の発展に寄与したい。また先ほどのアウトリーチといった企画を行ったり、プロ楽団の演奏会を誘致したり、良い音楽に触れる機会を増やしていきたい。

最後に、現代はSNSの活用が重要視され、インターネットでの繋がりも大切である。私はあまり得意でなく、現在自ら発信することは少ない。しかし好きな俳優が出て

いるドラマは全て観るという人がいるように、SNSで魅力的な演奏家を見つけて演奏会に行く人も少なくはないだろう。そこで今後は発信力を高めて鍛錬した成果を演奏動画として発信するだけに留まらず、人間性な魅力を高めて『この人の演奏を聴いてみたい』と思ってもらえるような演奏家を目指したい。私の強みは努力を惜しまないこととあらゆる方向から楽器の調子や自分自身を細部まで見つめられる分析力、また1日、1ヶ月、1年と分けて目標を設定して少しずつでも上手くなろうとするひたむきな向上心にある。これは大学で良い友人と切磋琢磨し合い、先生方に助けられたからこそできた部分が大いいため、卒業後自らで力強く、歩んでいけるのか不安な部分も大きい。だがそのような不安さえも武器にしてさらに時間をかけて音楽に真摯に向き合い、短い時間でも興味を持ってもらえるような演奏ができるよう、そして現在の長所をさらに伸ばして人々を惹きつけられるような人間になれるよう日々精進していきたい。

京芸だより

◎学長就任のご挨拶

「芸術」の力

皆様、初めまして。この4月から京都市立芸術大学の理事長・学長に就任しました、小山田徹と申します。美術学部彫刻の教員として15年ほどつとめてきましたが、4月からは違う形で大学に貢献したいと思っています。以後よろしくお願いいたします。

先日、真声会70周年記念コンサートを聞かせていただいて、改めて京都芸大の音楽の力を感じ感動いたしました。短い練習期間にもかかわらず素晴らしい演奏に心震えました。息が合う家族の様な関係を感じつつも聴衆にズーンと届くパワーと演奏の喜びを、体全体で受け止めました。改めて、70周年おめでとうございます。又、あのような体験をありがとうございました。

演奏を聴きながら、様々な思いが頭をよぎりました。人類はいつの頃から音楽というものを持ち始めたのか？なぜ、今も綿々と受け継がれているのか？音楽にとっての根源的な問いを考えてしまいました。想像するに、人類はかなり早い段階から、もしかすると現生人類の先輩達の頃から、手拍子を叩き、リズムを刻み、歌を歌い、踊り、物語を紡ぎ、絵を描き、物を作ってきたのです。私たちのDNAにはその事の喜びが刻まれていて、音楽や美術という「芸術」にすぐ反応するようになっているのだと思います。その事が人類が危機に瀕したり、困難に見舞われた時に、人々の心に寄り添い、支え、前進させる力を与える事を可能にしているのだと思います。「芸術」の力とはその様な物だと思います。音楽の真声会や美術の象の会は、その様な力を持った人々を育て、社会に送り出していく事を見守り、応援し、補償してあげる重要な存在であります。大学と共に未来の人々の心に豊かさをもたらす人材を育てていきましょう。今後ともよろしくお願いいたします。

京都市立芸術大学理事長・学長 小山田 徹

◎「歌う天使たち」石膏像について

サグラダ・ファミリア教会の彫刻家としてご活躍されている外尾悦郎氏より寄贈いただいた「歌う天使たち」石膏像(9体)の設置工事が、令和7年3月19日に無事完成いたしました。

この石膏像は、石像の原型として制作されたもので、2000年(平成12年)に石像に置き換えられるまでの約10年間、実際にサグラダ・ファミリア教会の「生誕の門」に設置され、多くの訪問者を魅了してきた作品です。高い芸術的・文化的価値を備えたこの貴重な石膏像は、キャンパス内のオープンなスペースに常設展示されておりますので、お越しの際にはぜひお立ち寄りください。

なお、この設置工事は、令和 7 年 1 月までの約 3 ヶ月間にわたるクラウドファンディングを通じて、多くの皆さまからの温かいご支援によって実現することができました。この場をお借りし、深く感謝申し上げます。

そとお えつろう

外尾 悦郎（略歴）

昭和 28 年福岡県生まれ。京都市立芸術大学美術学部彫刻科卒業。卒業後、非常勤講師を経てスペインに渡り、サグラダ・ファミリア教会の彫刻に携わる。平成 12 年に完成させた「生誕の門」が同 17 年に「アントニ・ガウディの作品群」としてユネスコの世界遺産に登録される。同 25 年に教会の主任彫刻家に就任し、現在も装飾部門の監督を務める。文部科学大臣表彰をはじめ、数々の賞を受賞。昨年 11 月にローマ教皇庁（バチカン）よりラツィンガー賞を受賞。スペイン王国バルセロナ市在住。

※昨年 11 月に会員の皆様にお送りされた会報に、クラウドファンディングのご案内を同封させていただきましたが、送付文の宛先に記載した貴会の名称に誤りがございました。このような不手際により、皆様にご迷惑とご不快な思いをおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。今後このようなことがないよう、細心の注意を払い再発防止に努めて参ります。



◎教員情報

【2024 年 3 月 31 日退任】

大嶋 義実 教授

小濱 妙美 教授

向山 佳絵子 准教授

【2024 年 4 月 1 日着任】

上森 祥平 准教授

加瀬 孝宏 准教授

小濱 妙美 特任教授

【2025 年 3 月 31 日退任】

砂原 悟 教授

【2025 年 4 月 1 日着任】

塩見 亮 准教授

【2025 年 4 月 1 日昇任】

酒井 健治 教授

戸上 真里 教授

◎演奏会のご案内 ※実施方法や内容が変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。

クロックタワーコンサート

日程：5 月 31 日（土）開場 14：00 / 開演 15：00

会場：京都大学百周年時計台記念館

出演：中田延亮

京都ロータリークラブ創立 100 周年記念演奏会

日程：8 月 2 日（土）開場 13：00 / 開演 14：00

会場：堀場信吉記念ホール

指揮：佐渡裕

ウエスティ音暦 1

日程：6 月 7 日（土）開場 14：30 / 開演 15：00

会場：京都市西文化会館ウエスティ

担当：管・打楽専攻

オーケストラ協演の夕べ

日程：10 月 5 日（日）

会場：堀場信吉記念ホール

指揮：阪哲朗

ホワイエコンサート 1

日程：6 月 14 日（土）開場 16：00 / 開演 16：30

会場：京都国立近代美術館

担当：声楽専攻

オータムウィングズフェスト

日程：11 月 12 日（水）開場 18：00 / 開演 19：00

会場：堀場信吉記念ホール

担当：管・打楽専攻

第 39 回ピアノフェスティバル

日程：6 月 20 日（金）開場 18：00 / 開演 19：00

会場：堀場信吉記念ホール

ホワイエコンサート 2

日程：11 月 22 日（土）

会場：京都国立近代美術館

担当：作曲専攻

第 177 回定期演奏会

日程：7 月 8 日（火）開場 17：30 / 開演 18：30

会場：京都コンサートホール 大ホール

指揮：鈴木優人

曲目：J. シュワントナー／打楽器とオーケストラのための協奏曲

L.v. ベートーヴェン／交響曲第 2 番 二長調 作品 36

I. ストラヴィンスキー／バレエ音楽「火の鳥」(1919 年版)

M. ラヴェル／ボレロ

ウエスティ音暦 2

日程：11 月 29 日（土）

会場：京都市西文化会館ウエスティ

担当：弦楽専攻

7 月の定期演奏会は、無料でご入場いただけます。
入口前の真声会受付にてご記帳をお願いします。

各支部活動報告

●大阪支部 支部長 大富 栄里子(28期・ピアノ)

新緑の季節、5月16日(金)19:00より伊丹市の東り いたみホール(B1多目的ホール)にて「プロムナードコンサート in 伊丹」を開催いたします。出演は、梶原千聖(67期vn)/玉置彩音(64期vo)/今井彩香(54期pf)/伊藤咲代子(53期cl)/寺本純子(52期cl)/木下紀章(47期vo)/大富栄里子(28期pf)。曲目はクライスラー「前奏曲とアレグロ」、メンデルスゾーン「演奏会用小品第1番作品113」、ビゼー「“カルメン”より手紙の二重唱」他です。近隣地域にお住まいの方はお出かけいただければ幸いです。

5月25日(日)に支部総会、また8月30日(土)に当地では4回目となる「プロムナードコンサート in 三田」を三田郷の音ホール(アクトスクエア)にて行う予定です。

地域に根差したコンサートとして定着しつつあることを励みに、今後も地道な活動を続けていければと思っています。

<http://senri-music.com/shinseikai-osaka/>「真声会大阪支部」でアクセス可
事務局 e-mail: h.higuchi@kinran.ed.jp(樋口博行)

●関東支部 支部長 宇野 徹哉(28期・声楽)

真声会創立70周年おめでとうございます。そして関東支部も創設30年を迎えました。今年度は周年行事として定期総会(5/25開催)に併せて同窓会を開催いたします。同窓生が一堂に会するだけでなく、同窓会を機に同窓会活動を若い世代に引き継ぐ事も目的とし、関東以北に在住する新旧同窓生の掘り起こしなども行いました。ピアノのあるサロンを会場としましたので、ご参加の皆さんの演奏も楽しみながらの和やかな会になる事を願っております。また定期演奏会(11/24開催@かつしかシンフォニーヒルズ)も周年行事と位置付け「アンサンブルの京芸」を継承するべく、たくさんのメンバー&楽器にご出演頂き、関東のお客様にも京芸の底力を感じて頂ける演奏会にしたいと意気込んでおります。更に支部会報のHarmonyも内容を一層充実させた特別版として発行する事を計画するなど、例年に増して役員はてんてこ舞いしております。

最後になりましたが、30年前に関東支部を立ち上げてくださった島津与外次氏(5期)坪井フミ子氏(8期)鈴木照氏(7期)小林和子氏(4期)岡田節氏(15期)の皆さまに改めて敬意を表したいと思います。先輩皆さま、本当にありがとうございました。【関東支部連絡先 kmwata4155207@yahoo.co.jp(副支部長・丸山)】

●京都支部 支部長 寒川 正晴(30期・ホルン)

昨年9月21日、第39回プロムナードコンサートを終えたのち、次の役員会までに引き続き大学構内巡りについてメールなどでやりとりしながら、年が明けた1月12日に第4回の役員会を開催しました。役員会では2025年度、第40回を迎えるプロムナードコンサートを9月14日(日)府民ホールアルティで開催することを確認しました。また第35回京都支部総会について、5月18日(日)に昨年と同様京都テルサの会議室をお借りして開催することとなりました。

毎回の役員会では、卒業後の方々に新たに支部会員として迎え入れるためにどのように情報を発信し魅力などを伝えていけるか、母体である真声会本部や大学などにどんな協力を求めることができるか、また新たな役員を迎えるための声かけ、京都市内にある芸術文化施設の発掘や活用方法などについて意見交流を重ねています。大学構内巡りについては、大学関係者の方と相談しながら今年度実現の方向で動き出しています。今後も京都支部として新たな取り組みや情報発信のありかたや工夫など、継続して考えていくことにしています。

連絡先/宮崎友香子(38期P) TEL & FAX 0774-93-3957 PC.miyazaki.ykk@gmail.com

●滋賀支部 支部長 井出 悟(20期・ピアノ)

滋賀支部は1989年発足しました。現在240余名の会員登録がありますが、連絡が取れない会員がかなりいます。これから3年計画で会員の洗い直しをしようと考えています。同時にインターネットで支部報を発信できるようにする方法を模索しています。郵便料金の大幅な値上げは支部にとって大きな負担になります。さて、この原稿は桜が満開という時期に書いておりますので、今年度の新卒者の動向を把握しておりません。また今年は役員改選があります。新役員が決まりましたらお知らせします。総会は6月21日に予定しています。また支

部主催の恒例の第 37 回演奏会「湖のしらべ」はいつもの「びわ湖ホール」ではなく、個人が運営する「フィガロホール」（大津市中庄 1 丁目 16-14 tel077-522-3106）で開催します。定員 100 名ほどのこじんまりしたホールです。間近な奏者と音楽を楽しんでいただけたらと思います。

滋賀支部事務局 角間秀子 携帯 /090-8238-8368 メール /g0n.san12181218@gmail.com

●中部支部 支部長 中島 百合子（19 期・作曲）

真声会創立 70 周年記念演奏会おめでとうございます。出演者の皆様はもとより、事務局、役員の皆様もお疲れ様でした。心に残る 70 周年となり、有り難うございました。

さて、2025 年度第 16 回中部支部総会は、5 月 18 日（日）14：30 より名古屋市音楽プラザ第 2 控室にて開催いたします。オンライン併催ですので、国内はもとより、海外からもご参加いただければと思っております。今年度は遂に名古屋を飛び出し、福井でも支部主催の演奏会を開催いたします。「音に集うコンサート in 福井」と題し、松谷由美さん（41 期院 12Vn）を中心として、福井県在住、出身の 5 名、谷口佳奈香（47 期 P）、岩上杏子（50 期 Vn）、泉谷更沙（59 期 Vn）、山内睦大（院 35 期 Vc）さん（敬称略）が出演されます。10 月 5 日（日）14 時より、会場は、北ノ庄クラシックス（JR 福井駅より徒歩約 5 分）です。一方、恒例の名古屋での演奏会は 8 月 24 日（日）14 時より、ドルチェ・アートホール Nagoya にて「音に集う会 Vol.8」として開催します。出演は、斎木美緒（41 期 Vn）、平野佳恵（院 19 声）、大久保理紗（院 25P）、平塚友美（58 期 Cl）さんです。いずれの演奏会も、出演者が中心になり、それを若手の委員が支える形で進めています。

今後とも支部活動へのご参加、お力添えをよろしくお願い申し上げます。

e-mail : ototsudo.con@gmail.com（中島） <https://shinseikai-c.jimdo.com>

●奈良支部 支部長 菊田 義典（42 期・声楽）

奈良支部の今後の在り方を考えておりますが、なかなか答えが出ず、これからも引き続き検討していきたいと考えております。まずは、現行のものをどういった形でも後世に残せればと思っております。

役員会と茶話会の開催を 4 月 19 日に、また支部総会を 6 月 28 日に予定しております。また、奈良支部定期演奏会を来年 2 月 22 日で計画しております。皆様のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。気になるましたら、また何かありましたら shinseikai_nara_shibu_info@yahoo.co.jp にご一報ください。

🎵 後援演奏会情報

会報への掲載希望があった演奏会のみ記載しています。また、出演者は、卒業生及び教員（退任も含む）のみ記載しています。

秋月舞 ピアノリサイタル Richard × Richard

日時：2024 年 12 月 22 日（日）14:00

会場：マツヤマ楽器スタジオ M

出演：秋月舞（61 期 Pf）

♪中野万里子クリスマスピアノリサイタル

日時：2024 年 12 月 22 日（日）15:00

会場：ピアノバーおでんでん

出演：中野万里子（24 期 Pf）

♪アフター・アワーズ・セッション クリスマスのボブリ 2024

日時：2024 年 12 月 23 日（月）19:00

会場：日本基督教団 島之内教会

出演：右近恭子（25 期 Pf）、日比浩一（29 期 Vn）、日野俊介（29 期 Vc）、池村佳子（45 期 Vc）、松原央樹（29 期 Cl）

※演奏曲『妖精の星によるささやかな計略』（28 期作曲 秋透）

♪原田洋平 原田ひでよデュオリサイタル

日時：2025 年 1 月 4 日（土）15:30

会場：音楽ホール & ギャラリー里夢 SATOM

出演：原田任世（26 期 Pf）

♪ An Evening of Art Songs ～歌曲の夕べ～主催ソワレの会

日時：2025 年 1 月 28 日（火）19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター

神戸女学院小ホール

出演：信多仁子（32 期 Pf）、上木裕子（34 期 Vo.）、中西金也（49 期 Vo.）

♪玉井元×鈴木優輔デュオ・リサイタル 東京公演

日時：2025 年 1 月 29 日（水）19:00

会場：カデンツァコンサートサロン

出演：玉井元（66 期 vn）

♪玉井元×鈴木優輔デュオ・リサイタル 京都公演

日時：2025 年 2 月 1 日（土）14:00

会場：遠藤剛熙美術館

出演：玉井元（66 期 vn）

♪ピアノと声楽でたどるラヴェルの音響と色彩

日時：2025 年 2 月 8 日（土）13:30

会場：プリメールアートホール

出演：志賀俊亮（61 期 Pf）、大西凌（61 期 Vo）、中谷明日香（61 期 Vo）

♪ Union”無頼派”第2回公演

日時:2025年2月14日(金)19:00
会場:名古屋電気文化会館ザ・コンサートホール
出演:鬼頭俊(25期 Vn)、吉岡秀和(44期 Vn)

♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~主催ソワレの会

日時:2025年2月25日(火)19:00
会場:伊丹アイフォニックホール メインホール
出演:藤 美千代(43期 Vo.)

♪ 田村紗矢香ヴァイオリンリサイタル 京都公演

日時:2025年3月1日(土)13:00
会場:NAM HALL
出演:田村紗矢香(67期 Vn)、森川歩美(67期 Pf)

♪ チャペルコンサート

日時:2025年3月1日(土)14:00
会場:母の家ベテル1Fホール
出演:右近恭子(25期 Pf)、松原央樹(29期 Cl)

♪ 名取裕子ピアノコンサート vol.8

～ピアノ名曲アルバムとクラシックから生まれたジャズ～

日時:2025年3月1日(土)14:00
会場:和泉市久保惣記念美術館 久保惣 Ei ホール
出演:名取裕子(34期 Pf)

♪ シューマン歌曲演奏会

日時:2025年3月2日(日)15:00
会場:studio lilly スタジオリリー
出演:中島貴子(22期 Vo.)

♪ 3/3 (さんぶんのさんびょうし)

～上中あさみ・後藤ゆり子・安永早絵子のトリオ

日時:2025年3月9日(月)16:00
会場:桜の庄兵衛(豊中市)
出演:上中あさみ(41期 Perc)

♪ SERA FINAL CONCERT

ヴァイオリン・ヴィオラ&ピアノによるデュオコンサート

日時:2025年3月16日(日)14:30
会場:世良美術館
出演:丸山奏(Vn、Va)、武田佳美(34期 Pf)

♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~主催ソワレの会

日時:2025年3月19日(水)19:00
会場:兵庫県立芸術文化センター
神戸女学院小ホール
出演:信多仁子(32期 Pf)、栗木充代(34期 Vo.)、中西金也(49期 Vo.)

♪ 令和6年度和歌山市真舟芸術振興基金 若手芸術家支援事業

「宮井愛子 Special Concert」

日時:2025年3月22日(土)14:00
会場:和歌山城ホール・小ホール
出演:宮井愛子(50期 Pf)

♪ デュオ フェリーチェ ピアノコンサート vol.4

日時:2025年3月28日(金)18:30
会場:旭堂楽器店2階サンホール
出演:水野雅子(26期 Pf)

♪ Ravel Marathon ラヴェル生誕150年記念歌曲演奏会(全2回)

日時:2025年3月29日(土) Vol.1. 15:00開演 / Vol.2. 18:00開演
会場:音楽ホール & ギャラリー里夢 SATOM
出演:信多仁子(32期 Pf)、栗木充代(34期 Vo)、藤 美千代(43期 Vo)、中西金也(49期 Vo)、上木裕子(34期 Vo)

♪ 音楽の森 ～ロシア特別編～

日時:2025年3月30日(日)14:00
会場:大阪狭山市文化会館 SAYAKA ホール 小ホール
出演:藤原さおり(46期 Vo.)

♪ アフター・アワーズ・セッション 春の音楽ツアー

日時:2025年4月11日(金)19:00
会場:日本基督教団 島之内教会
出演:右近恭子(25期 Pf)、日野俊介(29期 Vc)、松原央樹(29期 Cl)、ギオルギ・バブアゼ(教員 Vn)

♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~主催ソワレの会

日時:2025年4月23日(水)19:00
会場:兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
出演:信多仁子(32期 Pf)、栗木充代(34期 Vo)、中西金也(49期 Vo)、向山空羽(大3Vo.)、神谷天(大3Vo.)

♪ 中村由紀子 マリンバリサイタル

日時:2025年4月25日(金)19:00
会場:電気文化会館 ザ・コンサートホール
出演:中村由紀子(59期 Perc)

♪ 『春のデュオ』～第10回デュオリサイタル～

日時:2025年4月25日(金)19:00
会場:ミューザ川崎シンフォニーホール『市民交流室』
出演:鈴木梨津子(24期 Vn)

♪ 同窓会真声会大阪支部「プロムナード・コンサート in 伊丹」

日時:2025年5月16日(金)19:00
会場:東リいたみホール(B1多目的ホール)
出演:梶原千聖(67期 Vn)、玉置彩音(64期 Vo)、今井彩香(54期 Pf)、伊藤咲代子(53期 Cl)、寺本純子(52期 Cl)、木下紀章(47期 Vo)、大富栄里子(28期 Pf)

♪ アンサンブル神戸 第89回定期演奏会

～モーツァルト至極の名曲とともに～

日時:2025年5月24日(土)15:00
会場:神戸新聞松方ホール
出演:松尾紗里(55期 Pf)

♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~主催ソワレの会

日時:2025年5月27日(火)19:00
会場:兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
出演:信多仁子(32期 Pf)、栗木充代(34期 Vo.)、中西金也(49期 Vo.)、上木裕子(34期 Vo.)、向山空羽(大3Vo.)

♪ ゆめいろ音楽会 Vol.3 ~ピアノとヴァイオリンのコンサート～

日時:2025年6月8日(日)14:00
会場:豊中市立文化芸術センター小ホール
出演:藤井夢音(64期 Pf)、村上順子(64期 Vn)

♪ J.S. バッハ パルティータ全曲演奏会《音楽の父の肖像》vol.3 (公財) 青山音楽財団助成公演

日時:2025年6月15日(日)14:00
会場:青山音楽記念館 バロックザール
出演:古新薫(25期 Pf)、岩崎宇紀(27期 Pf)、松村佳奈(31期 Pf)、山根亜紀(32期 Pf)、浅井佳代(37期 Pf)

♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~主催ソワレの会

日時:2025年6月18日(水)19:00
会場:兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
出演:信多仁子(32期 Pf)、栗木充代(34期 Vo.)、中西金也(49期 Vo.)、向山空羽(大3Vo.)、神谷天(大3Vo.)

♪ 第 2 回音楽で西宮を盛り上げようプロジェクト

「大倉卓也×若林里紗 ピアノデュオ リサイタル」

日時：2025 年 6 月 25 日（水）19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：大倉卓也（62 期 Pf）、若林里紗（63 期 Pf）

♪ 鎌田邦裕フルートリサイタル ～U-N-I-T-Y～ 東京公演

日時：2025 年 6 月 27 日（金）19:00

会場：江東公会堂（ティアラこうとう）小ホール

出演：鎌田邦裕（61 期 Fl）、三上翼（62 期 Pf）

♪ Bouquet de musique

日時：2025 年 6 月 28 日（土）14:30

会場：ガルバホール新宿

出演：嶋村純子（36 期 声楽院 6 期 vo）、高橋知子（32 期 pf）、元

木いずみ（32 期 pf）

♪ 兵庫県立美術館「ミュージアムコンサート 四季シリーズ

「夏」ギターとピアノの魅力

日時：2025 年 6 月 29 日（日）15:00

会場：兵庫県立美術館ギャラリー棟アトリエ 1

出演：星山智子（50 期 Pf）

♪ クラシックサマーコンサート

日時：2025 年 7 月 12 日（土）14:00

会場：遠藤剛熙美術館

出演：今井順子（44 期 Vo）、吉田麻佐（44 期 Vo）、中安容子（42 期 Vo）

♪ なぎらゆみこにおつきあいください vol.6

～モーツァルトの管楽 8 重奏～

日時：2025 年 7 月 13 日（日）16:00

会場：島之内教会

出演：佐竹裕介（52 期 Pf）、柳樂由美子（38 期 Cl）

♪ 新進演奏会育成プロジェクト リサイタルシリーズ TOKYO141

眞岩紘子 ヴィオラ・リサイタル

日時：2025 年 7 月 14 日（月）19:00

会場：東京文化会館 小ホール

出演：眞岩紘子（64 期 Va）

♪ Trio noir リサイタル Vol.2 『ブラームス』

日時：2025 年 7 月 18 日（金）、19 日（土）、24 日（木）19:00

会場：18 日 Halle Runde（名古屋）、19 日 高槻城公園芸術文化

劇場南館 太陽ファルマテックホール（大阪）、24 日 大田区民ホ

ール アプリコ 小ホール（東京）

出演：黒澤あみ（63 期 Pf）

♪ 天勝悠太 ピアノリサイタル 旭堂楽器店新進音楽家助成公演

日時：2025 年 7 月 29 日（火）18:00

会場：旭堂楽器店 サンホール

出演：天勝悠太（68 期 Pf）

♪ 夏の京都 浴衣 de コンサート

日時：2025 年 8 月 3 日（日）14:00

会場：京都市醍醐交流会館ホール（パセオ・ダイゴロー西館 2 階）

出演：木下裕美子（63 期 Pf）

♪ 鎌田邦裕フルートリサイタル ～U-N-I-T-Y～ 鶴岡公演

日時：2025 年 8 月 5 日（火）19:00

会場：荘銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）大ホール

出演：鎌田邦裕（61 期 Fl）、三上翼（62 期 Pf）

♪ 佐々由佳里室内楽シリーズ Vol.12

ピアノ四重奏で奏でる～ボヘミアの風 Part II～

日時：2025 年 8 月 7 日（木）19:00

会場：ザ・フェニックスホール

出演：佐々由佳里（30 期 Pf）

♪ 鎌田邦裕フルートリサイタル ～U-N-I-T-Y～ 山形公演

日時：2025 年 8 月 9 日（土）14:00

会場：山形県郷土館「文翔館」議場ホール

出演：鎌田邦裕（61 期 Fl）、三上翼（62 期 Pf）

♪ 天勝悠太 & 永井品人 デュオリサイタル

日時：2025 年 8 月 14 日（木）13:30

会場：枚方市立総合文化芸術センター ひらしんイベントホール

出演：天勝悠太（68 期 Pf）

♪ 栗木充代メゾ・ソプラノリサイタル

対話する時間 Vol.8 楽の音とともに

日時：2025 年 9 月 24 日（水）19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

出演：栗木充代（34 期 Vo）

♪ ～ensemble du takatsuki～ ちょっとおしゃれなコンサート

日時：2025 年 9 月 28 日（日）14:00

会場：太陽ファルマテックホール

出演：中井美内子（35 期 Vo）、壽恵由希子（36 期 Pf）、武村美穂

子（36 期 Fl）

♪ 打楽器デュオ ぽぷら コンサート Vol.1

日時：2025 年 11 月 16 日（日）14:00

会場：渡辺淳一文学館

出演：柳野伽耶（67 期 Perc）

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

- 4 期 三村 光子様（ピアノ）
6 期 佐野 勲雄様（声楽）
6 期 黒河 英子様（クラリネット）
7 期 佐野 玲子様（ヴァイオリン）
7 期 坂田 蓉子様（ピアノ）
37 期 吉崎 直之様（トランペット）

♪ コンクール等受賞者について

国内外の各種公募展やコンクール等で賞を受賞した方は、大学の連携推進課に報告をお願いします。受賞情報は学内で共有され、大学ウェブサイト等に掲載されます。



真声会理事会報告

2024年度 第3回理事会

日時 2025年1月14日(火) 19時～21時

会場 京都市立芸術大学 同窓会室

出席者

理事：登博美、佐藤敏子、樋上由紀、寒川正晴、阿部千鶴、若林義人、
日紫喜恵美、中村公俊、塚本ひらき

監査役：駒田さよこ

議題 1. 真声会70周年記念事業について

2. 真声会賞について

3. その他

2024年度 第4回理事会

日時 2025年3月18日(火) 19時～21時

会場 京都市立芸術大学 同窓会室

出席者

理事：登博美、佐藤敏子、樋上由紀、寒川正晴、阿部千鶴、若林義人、
日紫喜恵美、中村公俊、塚本ひらき

監査役：駒田さよこ

議題 1. 真声会賞選考

2. 総会について

3. 会報80号について

4. 真声会70周年記念事業について

5. その他

真声会 2025年度 総会のご案内

下記のとおり、総会及び懇親会を開催いたします。真声会受賞者による、演奏もごございますので、お忙しいこととは存じますが、ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 2025年6月22日(日) 総会 / 午後2時～午後4時 懇親会 / 午後4時～午後6時
- 2 場 所 「WITH - YOU (ウィズ・ユー)」(寺町通錦小路上ル西側。阪急河原町駅から徒歩5分)
- 3 総 会 「2025年度真声会総会議案書」及び添付の資料をご参照ください。
- 4 懇親会 多くの同窓生が一同に会して、楽しく懇親交流を深めたいと思います。
出席希望の方は、ハガキでご連絡の上、参加費を当日お支払いください。

○出欠の返信は、同封の返信用ハガキにて、5月31日(土)までにお願いします。

○ご欠席の場合は、委任状または、議決権行使書の提出をお願い致します。

事務局からのお知らせ

◎住所変更の届出について

住所や、氏名に変更があった場合には、ホームページから手続きをしてください。



(真声会 HP が開きます)

◎宛名シールをご確認下さい

会員番号(0から始まる5桁)や、会費納入の状況を、宛名のシールに記載しておりますので、ご確認ください。
会費納入の状況が違う場合は、ご連絡ください。

電話対応終了のお知らせ

現在使用している080-6185-4494の携帯電話につきまして、かかってくる電話の回数や内容を鑑み、2025年5月末日をもって解約します。今後は、情報が残るメール及びFAX、郵便をご利用いただければと思います。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



京都市立芸術大学音楽学部同窓会
Kyoto City University of Arts Alumni Association

発行所

京都市立芸術大学音楽学部同窓会 真声会

〒600-8601 京都市下京区下之町57番1

FAX : 075-320-2520

e-mail : shinsei@kcuu.ac.jp

HP : <http://www.shinseikai-kcuu.net>

Facebook : <https://www.facebook.com/KCUA.AlumniAssociation.Shinseikai>

郵便振替口座 01070-4-16071 真声会